



## 自主性！責任感！異学年交流進んでいます！

岩内西小学校長 古館 昭仁

初夏の風も爽やかな季節となりました。今月は集団下校訓練や避難訓練などの「安全指導に関する」行事、ふれあい班集会、児童会活動、遠足などの「自主性や責任感を育てる異学年交流に関する」行事が多くあり、それらの教育活動を通し子供たちがまた一つ大きく成長したと感じております。まず、5月15日に実施した避難訓練では、岩内消防署の協力の下、スモッグを炊いた疑似体験や水消火器による消火訓練も行いました。避難ではほとんどの児童がおしゃべり無しでの素早い行動、そして訓練の様子や講評を真剣に聴く様子など素晴らしかったです。さらに、雑巾で上靴をきれいにして学校に入る際も、無言で順番を待って行うなど、自ら「今必要なことは何か」を考えて行動する姿が大変すばらしいと感じました。

次に「ふれあい班集会」の様子を紹介します。ふれあい班は「子ども達同士の豊かなつながりをつくる」ことを目的に、全校を7つの班に縦割りでグループに分かれて行う集会活動です。主な活動は、高学年をリーダーに、グループごとに楽しい遊びを考え、仲よく遊ぶというものです。その1回目が5月8日にあり、自己紹介後に「どんな遊びをするのか」について話し合いました。その中で素晴らしいなと思えることがたくさんありましたので、以下にまとめました。

- 1 リーダーを中心に高学年がしっかり低学年を支えている。
- 2 話し合いの進め方がどの班も一緒である。
- 3 聞くときはしっかり聞くという意識や姿勢が徹底されている。
- 4 発言や発表に時間がかかる場合でも、じっと待っていることができる。
- 5 近くの人やグループで相談する時間が確保されている。
- 6 担当の先生が、サポート役に徹し、時に応じて適切なアドバイスを行っている。
- 7 試しのゲームを行う際、みんなが楽しめるように、互いに配慮して進めている。
- 8 低学年が上学年や友達の姿を見て、参考にして自分の時に生かしている。

これは一朝一夕でできるものでなく、全職員が「西小そろえる取組」「西小あいことば」「西校スタンダード」を意識して、子供たちを日々指導していることの「現れ」だと思えます。これまでの集会や訓練、全校朝会などで子供たちは姿で見せてくれています。ふれあい班集会は今年度5回行う予定です。これからの子供たちの活躍がとても楽しみです。

明日はいよいよ運動会です。これまで、学年やブロックでがんばってきた成果を発揮します。熱いご声援をお願いいたします。

西小HPへ  
検索(岩内西小学校)



↑ 見守り隊の金澤さんが持ってきてくれたオタマジャクシとサンショウウオです。貴重なものを見せていただきありがとうございました。

